



One たった1つの自分の母校

新生徒会座談会「明日の一中を創る」

新しくR5年度後期生徒会がスタートしました。「向日輪」をスローガンに掲げ、素晴らしい成果をあげてくれた前期生徒会からバトンを受け継ぎ、これから一年間どんな活動を繰り広げてくれるのかとても楽しみです。そこで新生徒会長、副会長の4名と私(校長)で“ランチミーティング”を行いましたので紹介します。彼らの意気込みをぜひ感じてください。

校長

今日は新生徒会長、副会長にいろいろお話を聞きます。まずは、一中をどんな学校にしていきたいと考えていますか？

会長

僕は、「支え合いの一中」そして「一人一人が輝ける一中」をつくりたいです。きっかけは一年生の時の学年レクです。卓球とかクイズとか種目ごと分かれて競ったんですけど、ふだん授業中おとなしい人でも卓球の時にすごく活躍したりして、「人それぞれ輝けるものを持ってるんだなあ」と感じたんですよ。

副会長

私は、「個性豊かで笑顔あふれる学校」を目指したいです。「学校行くのが楽しい」と感じて笑顔になるような学校にしたいですね。

1副男

僕は「明るくて活気のある学校」「個性を大事にできる学校」をつくりたいです。入学してお互いに知らない人がたくさんいたんですけど、「私服デー」の時間にお互いの個性がよくわかりました。個性って大事だなあと感じました。

1副女

私は、「みんなが意見をたくさん出せる、そして意見を尊重し合える学校」にしたいです。クラスでレクをしたんですけど、内容を決める時に、最初意見が分かれたんです。体の都合であまり走れない人がいて「みんなでやれるもの」と再確認したら、みんな自分の意見を通すんじゃないか、他の人のことを考えて意見を出してくれたんですよ。学級でも学校でもこういう風に話し合いができればいいと思います。

校長

じゃあ、そういう学校に近づけるためにどんな活動や企画をやりたいですか？

会長

一番やりたいのは「レク」と「意見箱の設置」です。他学年との交流や、「いっちゅうランド」のようにスポーツ系やクイズ系など、得意なものに分かれて輝けるようなレクにしたいです。今年「あいさつボランティア」をやった時期に学校がすごく明るくなった気がしました。あいさつ運動も工夫して取り組みたいと思います。

副会長

私は「個性」「笑顔」にポイントをおきたくて、意見を自由に入れられる「目安箱」の設置と、文化祭のような場で個性を発揮できる機会を広げられればいいなあと思っています。絵を描くのが得意な人やものづくりの得意な人など、作品を展示できる場をつくったりすれば、お互いにとって個性を持っているのがよくわかると思います。いろんな人が輝ける機会がもっと欲しいです。

1副男

僕は「私服デー」の取り組みがとてもよかったと思っています。4月になればクラス替えもあるし新入生も入ってきます。知らない人と一緒になる機会が増えるので、互いに個性がよくわかるためには「私服デー」がいい取り組みだと思っています。

出席者

生徒会長 副会長 一年男子副会長

一年女子副会長 司会 校長

1副女

文化祭を経験して感じたんですけど、吹奏楽部が「演奏会」というよりは「コンサート」っぽくやってくれて、すごく楽しかったんですね。手拍子したり踊ったりする人もいて、一体感があってもよかったですと思います。レクでも何でもいいので、全校生が一体感を感じられるような催しをやりたいです。

校長

みなさん共通して「個性」を大切にしたいという気持ちが強いですね。生徒の中にはクラスや学年の中で「個性」を十分に出せないでいる人がいるんじゃないですか？それってなぜでしょう？

会長

自分の意見を否定されるのが怖いんじゃないかと思います。自分の意見を言った時に、それを否定されたりすると、「気まずくなったらどうしよう」とか「空気が悪くなったらどうしよう」と過度に心配してるんじゃないかなと。それが大きくなるので、発言することにも勇気が必要になってきます。僕も似たような経験あるんで。

1副女

入学当初、お互いよく知らないで性格や価値観が違うことを受け入れられないで、クラスでイヤな雰囲気になったことがあります。今はそんな事無いんですけど、新しいクラスになったばかりの時は、お互いを知るのに時間や機会が必要ですね。

副会長

一年生の頃に、人のことを見ただ目で判断して悪く言う人がいましたね。「内面をよく知らないのに良くないな」とって思っていました。

1副男

クラスでも、見ただ目で判断して良くないことを言うというのがあって問題になりました。最後は言った人が謝って解決したんですけど、男子全員が指導されたりしてイヤな気持ちになった覚えがあります。

1副女

その人の良さとかもよく知らないのに、見ただ目でいろいろ言ってるのは耳にすることがあります。いい気分はしませんが、言われてる人だけじゃなく周りの人もガツカリすると思います。

校長

みなさんが大切にしたいと思っている「個性」とか「一人一人が輝く」ということも深くかかわってくる問題ですよ。みんなが「個性」を十分に発揮できる学校にするために、全校生徒にどんなことを伝えていきたいですか？

会長

人の意見や行動に対して、否定から入るのはやめてほしいですね。まずはその人の考えや人柄を受け入れる。そのうえで考えの違う部分を伝えたり、間違っている部分は指摘するとか。否定から入られると、自分が否定されたような気がしてしまうと思います。

副会長

「一回止まって考える」ということを頭において欲しいです。思ったことをすぐ言わないで、「これ言ったら本当に大丈夫？」「この人は本当に傷つかないの？」「これは本当にこの人の人柄なの？」って一回止まって考えることをして欲しいです。

1副男

人のことを「一回の判断で決めつける」というのが良くないと思います。人は完璧じゃないので、一回やったミスや過ちだけで判断されると、いいところも発揮できなくなると思っています。一つの行動だけじゃなく、いろいろ見て総合的にその人を判断してほしいです。

1副女

自分にも言い聞かせることですけど、「自分らしく堂々とする」とポジティブな気持ちでないと、いろんなチャレンジはできないと思います。あと「いい友達になる」友達だからこそ悪い点を注意したりできると思っています。

校長

最初は遠慮がちに、でも徐々に言葉に熱がこもってきたのがわかりました。「中」に対する熱い思い、「こそが生徒会活動の原動力だなあ」と再確認でき、胸がほんわか温かくなった気がします。「個性を大切にする一中」「二人一人が輝ける一中」という目指す学校像が見えてきました。彼らをリーダーとして突き進む、新たな「躍進一中」に期待します!!

HP上の学校だよりでは、個人の氏名や顔写真は掲載していません。配布版には掲載しています。